



神崎小だより



学校教育目標…自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成
めざす児童像…なかよく かしこく たくましく やりぬく
合言葉…【笑顔(スマイル)】 【行動(フットワーク)】 【協力(サポート)】
〈 早寝・早起き・朝ご飯 〉

2学期が始まりました。

夏休みのある日のことです。勤務時間が終わり、職員玄関を出ようとしたところ、空から何か落ちてきました。落ちてきた物体をよく見ると、頭としっぽのないトカゲでした。上を見るとカラスより少し大きな鳥がわくわく西の城の方に飛んでいきました。どうやら人間にびっくりして獲物を落としてしまったようです。何という鳥か気になり調べてみました。すると、「サシバ」というタカの仲間でした。

1学期終わりには、2年生の児童が「校長先生、学校にはウサギがいるよ。」と教えてくれました。グラウンドにウサギの糞がたくさん落ちていたとのことでした。確かめてみると本当にたくさんのウサギの糞が落ちていました。野ウサギが、夜間にエサとなる草を食べに来ているに違いありません。神崎小の南の小さな森に延々と生態系が確立されていると思うとなにやら感動すら覚えました。

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。毎年、夏休み明けに思うのですが、子ども達は、心も体も大きくなり、一段とたくましくなったように感じます。2学期も身近にある問い(はてな)をたくさん見つけて、自ら学んでいける子どもたちを育てていきたいと考えています。



「サシバ」中型の猛禽類、絶滅危惧Ⅱ類

朝晩はだいぶ涼しくなりましたが、9月はまだまだ厳しい暑さが続くことが予想されます。熱中症に気をつけながら学校生活に少しずつ慣れさせていきます。そのためにもご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」を心掛けさせてください。

～学級閉鎖等の判断基準について～

神崎小学校でコロナ陽性者が出た場合の学級閉鎖、臨時休校の考え方については、R4.1.31に発行した第9号学校だよりでお知らせしたとおりです。

【感染者等が発生した場合の対応】 ※一部抜粋

・神崎町教育委員会は、感染者が発生した場合、原則として保健所の指示による消毒及び濃厚接触者の特定がされるまでの間、学校全体について臨時休校を行う。

なお、県または神崎町の衛生主管部局と相談の上、接触者の多寡、地域における感染拡大の状況、感染経路の明否等を総合的に考慮し、その後の臨時休業の実施の有無、規模及び期間について判断する。

その後、文科省から、学級閉鎖の判断基準について、「同一の学級で、複数の児童生徒の感染が確認された場合でも、それら児童の間で感染経路に関連がなかったり、学級内の他の児童に感染が広がっている恐れがない場合には、学級閉鎖を行わないことも考えられる」とガイドラインの改定が通知されました。また、児童や教職員に対する濃厚接触者の特定が行われないケースも想定されることから、感染動向を見極めるために行う初期対応としての学級閉鎖や臨時休校などは、基本的に行う必要はない、との考え方が示されました。

学級閉鎖、臨時休校の判断は設置者ですが、文部科学省のガイドラインを基準に総合的に判断していきますのでお知らせいたします。

◀9月の主な行事▶ 3日PTA労力奉仕 17日秋季大運動会 26日振替休業

本日9月2日、千葉日報朝刊1面に神崎小学校の2学期初日の様子が紹介されました。Web版でもご覧になれます。